**スポーツを通じた地域振興の推進に関する提言**

**近畿ブロック知事会**

**平成３０年１２月**

スポーツを通じた地域振興の推進に関する提言

全国各地で様々なスポーツ大会が開催され、地域間交流の舞台となっている中、

今後、2019年のラグビーワールドカップ2019TM、2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会、2021年のワールドマスターズゲームズ2021関西と大規模な国際競技大会が我が国で相次いで開催される。

とりわけ、アジアで初めて開催されるワールドマスターズゲームズ2021関西は、近畿圏内の広域を舞台に、国内はもとより多種多様な国や地域から大会史上最大約５万人の参加が見込まれる、世界最高峰の生涯スポーツの競技大会である。生きがいに満ちた生涯スポーツ社会を実現する絶好の機会として、「する」スポーツの文化を育て、広く発信していくべきである。

また、我が国で開催する国際競技大会の参加者に、観光資源等が多数集積する近畿圏の観光地、文化、食等を広く楽しんでもらうとともに、開催による経済的効果等を各地域に波及させ、一層の地域振興につなげていくべきである。これは、2020年の訪日外国人旅行者数の目標を4,000万人とし、観光立国を目指す我が国にとっても大きな意義があるといえる。

今後、スポーツの持つ様々な魅力を通じて地域振興を推進していくため、全国各地域におけるスポーツを大いに盛り上げ、ワールドマスターズゲームズ2021関西の大会テーマの「スポーツ・フォー・ライフ（スポーツを通じて人生を豊かに）」の理念を具体化していく必要がある。

よって、次のとおり提言する。

**１　生涯スポーツの振興**

(1)地域の生涯スポーツ大会への支援を行うこと

生涯スポーツのすそ野拡大に向け、ワールドマスターズゲームズ2021関西の機運醸成イベントである「関西マスターズスポーツフェスティバル」等の地域の生涯スポーツ大会への支援を行うこと。

(2)指導者の養成等に対する支援を行うこと

健康の保持増進と地域コミュニティの形成に資する総合型地域スポーツクラブを活性化するため、クラブマネジャーや地域のスポーツ活動における指導者の養成等に対する支援を行うこと。

**２　スポーツ選手の育成**

次世代を担うジュニア選手の発掘・育成や長期的展望に立った競技力の向上

を図るため、オリンピック・パラリンピック選手等を活用したスポーツ教室の開催や、ジュニア指導者養成研修会など選手育成のための指導者の確保・充実に向けた取組について、財政措置等の支援を行うこと。

**３　ワールドマスターズゲームズ2021関西他各種国際競技大会等の開催支援**

(1)近畿圏で実施される各種国際競技大会等の開催に向け、人的支援及び次の財政支援を行うこと。

①地方債の創設

老朽化が進む公立スポーツ施設等の機能向上等を図るための地方交付税

措置のある特別な地方債を創設すること。

②体育・スポーツ施設整備への支援の充実

・　社会体育施設の整備に対する助成制度について、地域スポーツセンター

やスイミングセンター、武道センターに加え、自転車競技場等を対象とす

ること。また、各種国際競技大会等の開催に必要な既存社会体育施設の機

能増設についても対象とすること。

あわせて、助成割合の嵩上げ(現行：国1/3)を行うこと。

・　障がい者スポーツの競技力向上に向けた施設整備への支援を行うこと。

(2)特に、ワールドマスターズゲームズ2021関西へは次の支援を行うこと。

①国家的プロジェクトとしての支援の強化

国家的なプロジェクトとしてより円滑な支援が得られるよう、スポーツ国際戦略会議等を通じて、各省庁の横断した支援を強化すること。

②スポーツ振興くじの活用等による財政支援

　　　　スポーツ振興くじ助成について、大会開催年の上限額及び補助率の引き上げ（現行：上限額２億円、補助率2/5）を行うこと。

　　　　あわせて、全国自治宝くじや記念切手の発行による支援も行うこと。

　　③東京オリンピック・パラリンピック等との一体的な広報活動等の支援

　 （機運醸成に向けた取組に対する支援）

ラグビーワールドカップ2019TM、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会との一体的な広報活動の展開など、国内外でワールドマスターズゲームズ2021関西の機運醸成に向けた取組を支援すること。

　　（各大会に共通する取組に対する一体的な支援）

大会運営のノウハウを共有するための人的交流や競技用具、システムの

有効活用、ボランティアの育成など、共通する取組について、一体的な支

援を行うこと。

**４　スポーツツーリズムの振興**

(1)我が国で開催する国際競技大会が、参加者等にとって高い満足感や感動が得られるスポーツイベントとなるよう、次のことに取り組むこと。

①円滑なＣＩＱ体制（税関・出入国管理・検疫）やセキュリティ対策

②多言語やバリアフリー対策の推進、交通アクセスや通信、宿泊環境の整備

③海外からの参加者への医療・防災対応　等

(2)国際競技大会を開催地等の地域経済活性化に寄与する好機と捉え、次のことに取り組むこと。

①訪日外国人旅行者を近畿圏へ誘導するための、低廉な陸・海・空の周遊

フリーパス等の創設及び各自治体の取組への支援

平成３０年１２月

近畿ブロック知事会

　　　　　　　　　　　　　　福井県知事　　西　川　一　誠

三重県知事　　鈴　木　英　敬

滋賀県知事　　三日月　大　造

京都府知事　　西　脇　隆　俊

大阪府知事　　松　井　一　郎

兵庫県知事　　井　戸　敏　三

奈良県知事　　荒　井　正　吾

　　　　　　　　　　　　　　和歌山県知事　仁　坂　吉　伸

　　　　　　　　　　　　　　鳥取県知事　　平　井　伸　治

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　徳島県知事　　飯　泉　嘉　門